

広報 **かいつか** 7月

令和2年7月5日
No. 968



村上総監督

後列：森さくら選手
前列：平野美宇選手

後列：前田美優選手
前列：早田ひな選手

貝塚市に練習拠点を持つ日本生命レッドエルフが卓球Tリーグ女子2連覇を果たし、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで6月9日に報告会が開催されました。Tリーグ松下チェアマン・日本生命レッドエルフのみなさん・藤原市長がオンラインでつなぐ、村上総監督と森・平野・前田・早田選手が2連覇の喜びと感謝、3連覇への意気込みを語り、市長は「3連覇を目指して」と激励しました。市公式YouTubeで動画を掲載していますのでご覧ください。



松下チェアマン



今月号のトピックス

- 新型コロナウイルス感染症 追加支援策…2ページ
- かいつか結婚お祝いチケット…6ページ
- 7月からレジ袋が有料になります…9ページ



●かいつか家族の日
…13ページ

新型コロナウイルス感染症対策により、広報かいつかに掲載した内容は、中止または延期となる場合があります。

詳しくは市ホームページまたは各問合せ先でご確認ください。

なかなかええやん!貝塚市

聴覚障害者とのコミュニケーション ～あなたはどよう伝える?～



みなさんは、聴覚障害者についてどのくらいご存知でしょうか?手話ができないからコミュニケーションが取れないと思いませんか?聴覚障害者のかたは、聴力を失った時期や聞こえ方が一人ひとり異なり、コミュニケーションの方法も「手話」「筆談」「口の形を読み取る」など様々です。

聴覚障害者は外見からは分かりにくいので、聞こえていないことに気付いてもらえず、情報から取り残されてしまいます。例えば緊急時や災害時の放送・サイレンの音が鳴っていても聞こえず、自分や周りのかたが危険な状態かどうか分からない場合があります。

呼びかけや音に反応がなかったり「もしかして?」と思ったら、少しの勇気を持って行動してみませんか?身振り手振り(ジェスチャー)や筆談、口の形をはっきり見せることでコミュニケーションをとることは可能です。みなさんの気づきと思いやりで、障害のあるなしに関わらず、地域で安心して暮らせる貝塚市にしましょう!

市では平成30年3月に手話言語条例を制定し、手話の理解と普及を進めています。貝塚ろうあ福祉会や手話サークル、手話通訳者養成講座受講生など約60人のかたにご協力いただき、聴覚障害への理解とコミュニケーション方法に関する動画を作りました。市公式YouTubeをご覧ください。

問合せ先 障害福祉課 ☎072-433-7014

